

正味財産増減計算書総括表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[7,928,926]	[18,523,911]	[26,452,837]
② 特定資産運用益	[14,696,305]	[997]	[14,697,302]
③ 事業収益	[2,671,927,609]	[668,835,458]	[3,340,763,067]
労働安定基金収益	2,629,841,581		2,629,841,581
技能研修受講料収益	42,086,028		42,086,028
港湾労働法付加金収益		668,835,458	668,835,458
④ 受取補助金等	[]	[271,798,720]	[271,798,720]
受取交付金		196,749,290	196,749,290
受取国庫委託費		75,049,430	75,049,430
⑤ 雑収益	[21,128,436]	[309,284]	[21,437,720]
受取利息	263,155	219,975	483,130
研修センター減価償却引当			
資産評価益	6,611,250		6,611,250
港湾労働者年金等給付引当			
資産評価益	12,513,800		12,513,800
雑収益	1,740,231	89,309	1,829,540
経常収益計	2,715,681,276	959,468,370	3,675,149,646
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,391,107,022]	[846,429,993]	[3,237,537,015]
港湾労働者年金助成金	2,031,070,833		2,031,070,833
職業訓練助成金	16,332,000		16,332,000
技能研修運営費	259,755,123		259,755,123
計算等事務委託費	75,841,073		75,841,073
送金手数料	8,107,993		8,107,993
雇用管理者研修費		1,365,091	1,365,091
派遣元責任者研修費		1,814,199	1,814,199
業務諸費		167,717,879	167,717,879
事業主支援業務費		580,000,000	580,000,000
国庫委託費		75,049,430	75,049,430
その他の業務費		20,483,394	20,483,394
② 管理費	[183,045,938]	[55,214,519]	[238,260,457]
役員報酬	15,485,556		15,485,556
給料手当	69,732,644	12,123,779	81,856,423
賞与引当金繰入額	5,787,722	325,527	6,113,249
退職給付費用	7,024,000	2,698,000	9,722,000
福利厚生費	13,110,568	8,018,457	21,129,025
会議費	1,065,678	1,773,791	2,839,469
旅費交通費	28,000,588	1,784,670	29,785,258
通信運搬費	967,267	1,121,317	2,088,584
減価償却費	343,932	5,966,294	6,310,226
調査広報費	4,372,627	4,134,026	8,506,653
図書費	297,906		297,906
消耗品費	1,045,245	3,067,558	4,112,803
保守費	856,007	1,148,060	2,004,067
印刷製本費	112,939	289,937	402,876
光熱水料費	928,968	277,483	1,206,451
賃借料	23,199,561	7,363,999	30,563,560
保険料		18,333	18,333
手数料	10,502,120	3,070,340	13,572,460
租税公課	89,650	1,832,334	1,921,984
雑費	122,960	200,614	323,574
経常費用計	2,574,152,960	901,644,512	3,475,797,472
当期経常増減額	141,528,316	57,823,858	199,352,174

2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産受贈益	[42,800,000]	[]	[42,800,000]
建物受贈益	42,800,000		42,800,000
経常外収益計	42,800,000		42,800,000
(2) 経常外費用			
① 特定資産売却損	[1,485,028]	[]	[1,485,028]
車両運搬具売却損	1,485,003		1,485,003
投資有価証券売却損	25		25
② 固定資産除却損	[203,656]	[2,388,750]	[2,592,406]
機械装置除却損	185,243		185,243
什器備品除却損	18,413		18,413
ソフトウェア除却損		2,388,750	2,388,750
③ 前期損益修正損	[]	[13,156,153]	[13,156,153]
前期損益修正損		13,156,153	13,156,153
経常外費用計	1,688,684	15,544,903	17,233,587
当期経常外増減額	41,111,316	△ 15,544,903	25,566,413
当期一般正味財産増減額	182,639,632	42,278,955	224,918,587
一般正味財産期首残高	3,481,252,821	836,409,308	4,317,662,129
一般正味財産期末残高	3,663,892,453	878,688,263	4,542,580,716
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	1,000,000,000	1,500,000,000
指定正味財産期末残高	500,000,000	1,000,000,000	1,500,000,000
III 正味財産期末残高	4,163,892,453	1,878,688,263	6,042,580,716

一般会計正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[7,928,926]	[7,939,039]	△ 10,113
② 特定資産運用益	[14,696,305]	[29,640,259]	△ 14,943,954
③ 事業収益	[2,671,927,609]	[2,341,949,289]	329,978,320
労働安定基金収益	2,629,841,581	2,293,019,189	336,822,392
技能研修受講料収益	42,086,028	48,930,100	△ 6,844,072
④ 雑収益	[21,128,436]	[213,537,959]	△ 192,409,523
受取利息	263,155	478,920	△ 215,765
研修センター減価却引当資産評価益	6,611,250	85,623,150	△ 79,011,900
港湾労働者年金等給付引当資産評価益	12,513,800	124,253,300	△ 111,739,500
雑収益	1,740,231	3,182,589	△ 1,442,358
経常収益計	2,715,681,276	2,593,066,546	122,614,730
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,391,107,022]	[2,351,472,596]	39,634,426
港湾労働者年金助成金	2,031,070,833	2,056,642,500	△ 25,571,667
職業訓練助成金	16,332,000	16,575,000	△ 243,000
技能研修運営費	259,755,123	198,263,083	61,492,040
計算等事務委託費	75,841,073	71,686,283	4,154,790
送金手数料	8,107,993	8,305,730	△ 197,737
② 管理費	[183,045,938]	[223,897,034]	△ 40,851,096
役員報酬	15,485,556	37,582,102	△ 22,096,546
給料手当	69,732,644	66,165,179	3,567,465
賞与引当金繰入額	5,787,722	8,293,687	△ 2,505,965
退職給付費用	7,024,000	14,309,000	△ 7,285,000
福利厚生費	13,110,568	18,445,960	△ 5,335,392
会議費	1,065,678	2,029,784	△ 964,106
旅費交通費	28,000,588	19,449,650	8,550,938
通信運搬費	967,267	3,719,879	△ 2,752,612
減価償却費	343,932	169,335	174,597
調査広報費	4,372,627	3,807,766	564,861
図書費	297,906	285,737	12,169
消耗品費	1,045,245	999,497	45,748
保守費	856,007	927,933	△ 71,926
印刷製本費	112,939	371,307	△ 258,368
光熱水料費	928,968	899,270	29,698
賃借料	23,199,561	23,191,967	7,594
手数料	10,502,120	23,060,055	△ 12,557,935
租税公課	89,650	46,000	43,650
雑 費	122,960	142,926	△ 19,966
経常費用計	2,574,152,960	2,575,369,630	△ 1,216,670
当期経常増減額	141,528,316	17,696,916	123,831,400
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産受贈益	[42,800,000]	[0]	42,800,000
建物受贈益	42,800,000	0	42,800,000
経常外収益計	42,800,000	0	42,800,000
(2) 経常外費用			
① 特定資産売却損	[1,485,028]	[0]	1,485,028
車両運搬具売却損	1,485,003	0	1,485,003
投資有価証券売却損	25	0	25
② 固定資産除却損	[203,656]	[430,120]	△ 226,464
構築物除却損	0	10,557	△ 10,557
車両運搬具除却損	0	180,000	△ 180,000
機械装置除却損	185,243		185,243
什器備品除却損	18,413	239,563	△ 221,150
③ 固定資産減損損失	[0]	[13,984]	△ 13,984
電話加入権減損損失	0	13,984	△ 13,984
④ 引当金繰入額	[0]	[200,000,000]	△ 200,000,000
港湾労働者年金等給付引当金繰入額	0	200,000,000	△ 200,000,000
⑤ 前期損益修正損	[0]	[2,623,600]	△ 2,623,600
前期損益修正損	0	2,623,600	△ 2,623,600
経常外費用計	1,688,684	203,067,704	△ 201,379,020
当期経常外増減額	41,111,316	△ 203,067,704	244,179,020
当期一般正味財産増減額	182,639,632	△ 185,370,788	368,010,420
一般正味財産期首残高	3,481,252,821	3,666,623,609	△ 185,370,788
一般正味財産期末残高	3,663,892,453	3,481,252,821	182,639,632
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	4,163,892,453	3,981,252,821	182,639,632

一般会計財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……………個別法による原価法を採用している。但し、債券金額と異なる価額で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

その他の有価証券

時価のあるもの……………決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は個別法により算定）によっている。

時価のないもの……………個別法による原価法によっている。

(2)固定資産の減価償却の方法

減価償却資産……………定額法によっている。

(3)引当金の計上基準

賞与引当金……………役員及び職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額のうち当期負担すべき額を計上している。

退職給付引当金……………役員及び職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

港湾労働者年金等給付引当金…港湾労働者年金等給付引当金の支給原資の不足額に充当するため計上している。

(4)リース取引の処理方法……………

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5)消費税等の会計処理

消費税等……………税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	0	0	500,000,000
小 計	500,000,000	0	0	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	92,877,000		3,233,000	89,644,000
研修センター減価償却引当資産	1,560,000,000		0	1,560,000,000
港湾労働者年金等給付引当資産	2,200,000,000		0	2,200,000,000
小 計	3,852,877,000	0	3,233,000	3,849,644,000
合 計	4,352,877,000	0	3,233,000	4,349,644,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	(500,000,000)		
小 計	500,000,000	(500,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	89,644,000			(89,644,000)
研修センター減価償却引当資産	1,560,000,000		(1,560,000,000)	
港湾労働者年金等給付引当資産	2,200,000,000			(2,200,000,000)
小 計	3,849,644,000		(1,560,000,000)	(2,289,644,000)
合 計	4,349,644,000	(500,000,000)	(1,560,000,000)	(2,289,644,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建 物	1,027,092,961	589,159,617	437,933,344
構 築 物	514,770,658	227,457,806	287,312,852
車 両 運 搬 具	402,229,566	284,054,899	118,174,667
機 械 装 置	859,699,518	764,362,530	95,336,988
什 器 備 品	55,857,914	47,218,755	8,639,159
ソ フ ト ウ ェ ア	9,022,020	3,010,318	6,011,702
合 計	2,868,672,637	1,915,263,925	953,408,712

5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金	251,769,664	0	251,769,664
合 計	251,769,664	0	251,769,664

6 保証債務等の偶発債務

港運労使が締結した協定に基づき、平成12年5月から年金額を減額したことを不服として、受給権者の一部から提訴された年金請求事件2件が係争中である。

7 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	489,235,580	499,050,000	9,814,420
合 計	489,235,580	499,050,000	9,814,420

8 関連当事者との取引内容

該当なし

9 その他

(1)リース取引関係

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

①リース取引の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

科 目	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
器具及び備品	3,091,053	2,437,050	654,003
合 計	3,091,053	2,437,050	654,003

②未経過リース料期末残高相当額

1年内	477,579 円
1年超	196,667 円
合 計	674,246 円

③支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料	468,295 円
減価償却費相当額	427,225 円
支払利息相当額	10,894 円

④減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

⑤利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

特別会計正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	[18,523,911]	[17,427,245]	[1,096,666]
②特定資産運用益	[997]	[2,594]	[△ 1,597]
③事業収益	[668,835,458]	[580,370,020]	[88,465,438]
港湾労働法関係付加金収益	668,835,458	580,370,020	88,465,438
④受取補助金等	[271,798,720]	[385,617,314]	[113,818,594]
受取交付金	196,749,290	227,449,694	△ 30,700,404
受取国庫委託費	75,049,430	158,167,620	△ 83,118,190
⑤雑収益	[309,284]	[408,894]	[△ 99,610]
受取利息	219,975	322,435	102,460
雑収入	89,309	86,459	2,850
経常収益計	959,468,370	983,826,067	△ 24,357,697
(2) 経常費用			
①事業費	[846,429,993]	[1,015,039,083]	[△ 168,609,090]
雇用管理者研修費	1,365,091	1,480,916	△ 115,825
派遣元責任者研修費	1,814,199	1,800,833	13,366
業務諸費	167,717,879	183,224,948	△ 15,507,069
事業主支援業務費	580,000,000	650,000,000	△ 70,000,000
国庫委託費	75,049,430	158,167,620	△ 83,118,190
その他の業務費	20,483,394	20,364,766	118,628
②管理費	[55,214,519]	[53,263,042]	[1,951,477]
給料手当	12,123,779	12,089,215	34,564
賞与引当金繰入額	325,527	310,126	15,401
退職給付費用	2,698,000	890,000	1,808,000
福利厚生費	8,018,457	2,661,782	5,356,675
会議費	1,773,791	2,159,809	△ 386,018
旅費交通費	1,784,670	787,520	997,150
通信運搬費	1,121,317	1,206,098	△ 84,781
減価償却費	5,966,294	10,655,761	△ 4,689,467
調査広報費	4,134,026	3,779,006	355,020
消耗品費	3,067,558	2,778,309	289,249
保守費	1,148,060	1,520,854	△ 372,794
印刷製本費	289,937	171,041	118,896
光熱水料費	277,483	268,612	8,871
賃借料	7,363,999	7,284,908	79,091
保険料	18,333	10,165	8,168
手数料	3,070,340	2,110,673	959,667
租税公課	1,832,334	3,545,389	△ 1,713,055
雑費	200,614	1,033,774	△ 833,160
経常費用計	901,644,512	1,068,302,125	△ 166,657,613
当期経常増減額	57,823,858	△ 84,476,058	142,299,916
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①固定資産除却損	[2,388,750]	[787,807]	[1,600,943]
ソフトウェア除却損	2,388,750	787,807	1,600,943
②固定資産減損損失	[0]	[49,974]	[△ 49,974]
電話加入権減損損失	0	49,974	△ 49,974
③前期損益修正損	[13,156,153]	[0]	[13,156,153]
前期損益修正損	13,156,153	0	13,156,153
経常外費用計	15,544,903	837,781	14,707,122
当期経常外増減額	△ 15,544,903	△ 837,781	△ 14,707,122
当期一般正味財産増減額	42,278,955	△ 85,313,839	127,592,794
一般正味財産期首残高	836,409,308	921,723,147	△ 85,313,839
一般正味財産期末残高	878,688,263	836,409,308	42,278,955
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000,000	1,000,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000,000	1,000,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,878,688,263	1,836,409,308	42,278,955

特別会計財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権 …… 個別法による原価法を採用している。但し、債権金額と異なる価額で取得した債権で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産…………… 定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金…………… 職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額の当期負担すべき額を計上している。

退職給付引当金 …… 職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) リース取引の会計処理

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等…………… 税込み方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,199,850,965	898,368,302	400,000,000	1,698,219,267
定期預金	149,035	1,670,000	38,302	1,780,733
合計	1,200,000,000	900,038,302	400,038,302	1,700,000,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)
基本財産			
投資有価証券	1,698,219,267	(999,179,833)	(699,039,434)
定期預金	1,780,733	(820,167)	(960,566)
合計	1,700,000,000	1,000,000,000	700,000,000

4 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	22,892,000	7,117,900	4,843,900	25,166,000
合計	22,892,000	7,117,900	4,843,900	25,166,000

5 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	25,166,000			(25,166,000)
合計	25,166,000			(25,166,000)

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,637,828	1,324,177	313,651
車両運搬具	12,363,274	11,867,591	495,683
什器備品	2,894,400	2,807,968	86,432
ソフトウェア	55,313,475	43,666,059	11,647,416
合計	72,208,977	59,665,795	12,543,182

- 7 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。
(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の 当期末残高
未収金	69,064,879	0	69,064,879
合計	69,064,879	0	69,064,879

- 8 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。
(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
㈱みずほ銀行劣後債	500,000,000	516,500,000	16,500,000
オリックス㈱社債	99,917,265	104,580,000	4,662,735
第88回 利付国債	199,960,356	200,818,000	857,644
第93回 利付国債	499,079,078	500,691,000	1,611,922
第93回 利付国債	399,262,568	400,522,800	1,260,232
合計	1,698,219,267	1,723,111,800	24,892,533

- 9 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高は、次のとおりである。
(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
交付金	厚生労働省	0	196,749,290	196,749,290	0	
国庫委託費	厚生労働省	0	75,049,430	75,049,430	0	
合計		0	271,798,720	271,798,720	0	

- 10 関連当事者との取引の内容
該当なし

11 その他

リース関係取引関係、……リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

- (1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額
(単位:円)

科目	取得価額相当額	減価償却累計額 相当額	期末残高相当額
工具・器具・備品	14,376,845	6,641,908	7,734,937
合計	14,376,845	6,641,908	7,734,937

- (2)未経過リース料期末残高相当額

1年内	3,291,425 円
1年超	2,966,158 円
合計	6,257,583 円

- (3)当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料	2,143,344 円
減価償却費相当額	1,923,530 円
支払利息相当額	96,754 円

- (4)減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

- (5)利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。